

災害に強いまち村雲学区をめざして

昭和区村雲学区

震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、村雲学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。

この震災避難行動マップをもとに、“いざ”という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

このマップで示す避難ルートは、ハザードマップ等を参考に作成したルートであり、災害時の安全性を保証するものではありません。災害時には状況を確認しつつ、安全なルートで避難してください。

町内会の一時避難場所

天理教愛知教務支庁
資器材の貸出

【地域の避難先例】

1. 一時集合場所に避難しましょう。
2. 自宅に住めない場合は、村雲小学校または円上中学校へ避難しましょう。

(お願い)

自宅の被害が少ない場合は、なるべく自宅で生活しましょう。高齢者や障がいのある方など、自力で避難が難しい方は、地域で協力して避難先へ誘導しましょう。

役に立つもの

1. コンビニエンスストアなど



このステッカーの貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗です。

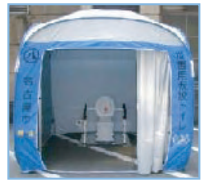
トイレや避難スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援協力が得られます。

2. 災害救援自動販売機

対象となる自動販売機には、停電時でも飲料提供ができることが説明された看板がついています。

3. 下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。



指定避難所一覧

- ① 村雲小学校
- ② 円上中学校

喜乃湯
入浴・生活用水の提供

登り坂が多いため、足腰が悪い方は迂回するか、皆で協力して避難しましょう



急な階段



坂道では大雨の時に水が川のように流れるので注意しましょう

ATグループ診療所
敷地の提供

エッソ高辻
サービスステーション
資器材の提供

気を付けて!!

1. 空き家

耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり

2. 古いブロック塀

大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない

3. 狭い道

近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり

4. 電線(高圧線)

切れた電線は停電時でも感電の危険があります。絶対に近づかない。また、高圧線の落下にも注意



凡例

指定避難所	家屋の倒壊などにより住居に被害を受けた方、あるいは被害を受けるおそれのある方を、一時的に受け入れ、滞在させるための施設です。	応急給水施設	一時集合場所
公衆トイレ	下水道直結式仮設トイレ(マンホールトイレ)	地下式給水栓	学区防災倉庫
地域防災協力事業所	AED(自動体外式除細動器)	井戸	公衆電話
			学区境
			避難経路の例

昭和区村雲学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い**震度6強ないし6弱**の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。**揺れがおさまった後、自宅が被害を受けたかまたは受けるおそれがある場合は適切な避難を行いましょう。液状化現象**が起きる可能性が高い箇所が広がっています。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなります。これらのことを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！ 災害時の対応

揺れた

●身の安全の確保

- 頭を守り揺れがおさまるまで待つ
- 安全に消せる場合は火を消す
- 家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



丈夫な机がない時は、クッション、かばん、ナベなど身近にある物で頭を守りましょう

安全にすばやい避難行動をとるためにも、**自宅の耐震化や家具転倒防止対策**は日頃からしっかり進めておきましょう



揺れがおさまった

- コンロやストーブなどの火を消す。万が一火が出たら初期消火
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- 怪我をしないように靴やスリッパをはく
- 出入り口の確保
- ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手
- 非常持出品の準備

地域には、町内会・自治会単位に結成された自主防災組織があり、災害時に初期消火・救出救護等の活動を行います。地域の被害を小さくするため、自主防災組織の活動にご協力をお願いします。



災害の危険解消

自宅での滞在が可能か



在宅避難



避難先へ

◆自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を！

避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける“在宅避難”を考えましょう。その際は、下記のことを心がけましょう。



周囲に在宅避難を知らせよう！



周囲で声かけし、食料や物資を分け合おう！



近所に高齢者や障がいのある方などが取り残されていないか確認しよう！

◆避難先へ安全に避難するための6つのポイント

①ガス・水道の元栓を締め、ブレーカーを切る！



②近所への声かけ！



③高齢者や障がいのある方などの避難誘導を！



④原則徒歩で！（渋滞抑止・高齢者や障がいのある方などの避難を妨げない）



⑤木造住宅密集地、がけ地や川の近くは避けて！



⑥二次災害に気をつけながら消火・人命救助の手伝いを！



一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

(例えばこんな方)

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

(対応方法)



優しい言葉でゆっくり声かけ



メモや、身振り手振りで伝える

移動が難しい方

(例えばこんな方)

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

(対応方法)



複数で手伝う



身近にあるものを利用する

避難の時の豆知識

非常持ち出し袋を準備しましょう！

避難する時に持っていくもの

防災用品

- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ ヘルメット・防災ずきん
- ☐ 軍手
- ☐ マスク

照明等

- ☐ 懐中電灯(電池含む)
- ☐ マッチ・ライター

食器類

- ☐ はし・スプーン
- ☐ 紙皿・紙コップ

衣料品

- ☐ 衣類(着替え)
- ☐ タオル(大小2種類)

貴重品

- ☐ 現金(小銭も必要)
- ☐ 預(貯)金通帳の写し
- ☐ 健康保険証・免許証の写し
- ☐ カード類
- ☐ 認印・印鑑など

医療用品

- ☐ 三角きん
- ☐ 包帯・ガーゼ
- ☐ ばんそうこう
- ☐ 消毒薬
- ☐ ウェットティッシュ(ティッシュ)
- ☐ お薬手帳の写し

便利用品

- ☐ 筆記用具
- ☐ 新聞紙
- ☐ 携帯用トイレ
- ☐ ゴミ袋
- ☐ キッチン用ラップ
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 雨具
- ☐ 手動携帯電話充電器



新聞を体にまいて防寒
ラップをお皿に置いて節水

住民からのメッセージ



周囲への声かけを大切に

水や食料を追加しましょう。めがね・入れ歯・持病の薬などの個人的に必要なものも忘れずに！

